



新市将来構想を組み立てる基本方針

これまで述べた課題と課題解決の視点と方向性から次の考え方を新市将来構想策定の基本方針とします。

全体方針1

地域の様々な人々が、その立場や役割を担いつつ、直接参加することで作られる将来構想とします。

具体化の方法

多様な手法により、新市民の思いや考えを集め、自治体の専門職員が、その思いを具体的な活動にしていく仕組み

全体方針2

地域（これまでの自治体）の大きさに左右されない、各地域の個性・特性と自主性を活かした将来構想とします。

具体化の方法

各自治体が、地域の特性を活かした方針と活動を検討し、それらの成果から新市全体で展開すべき活動を検討していく仕組み

1

調査の方針

地域の様々な人々の声や思いを、参考としてでなく、材料とした将来構想とします。

具体化の方法

- 地域アンケート調査による新市民の考えや思いの収集
- まちづくり（住民）ワークショップによる考えや思いの収集
- 有識者ヒアリング調査によるオピニオンの考えや思いの収集
- 首長・議会代表者取材調査による考えや思いの収集

2

分析の方針

策定過程や考え方のプロセスを明確化した将来構想とします。

具体化の方法



※15、16ページに説明があります。

3

計画の方針

地域全体が共有すべき価値とそれを高める活動展開によって構築された将来構想とします。

具体化の方法

- 市民全体が共有すべき**新市地域らしさ価値**を構築

新市地域らしさ価値とは、将来、対外的な競争力を持つ地域ブランドに育つ可能性のあるブランディング価値のことであり、地域の人々の誇りとなる共有の価値”を示します。

※16ページに説明があります。

- 自治体ワークショップによる地域別方針と活動展開の検討